

令和7年度第3回高鷺地域協議会 要録

日 時：令和7年6月27日（木）午後7時00分から午後8時40分

場 所：高鷺振興事務所 2階第2会議室

出席者：（高鷺地域協議会委員）

太田正徳、上野聡、蓑島治明、上村ひとみ、清水聡、仲谷志保、下牧直哉、
丸田純也、上村英二、福手均、蓑島俊輔、山根麻子、野田育子
（事務局）

黒田振興課長、森地域振興係長
（オブザーバー）

加藤祥治

欠席者：（高鷺地域協議会委員）

麦島洋介、渡邊慎

傍聴者：なし

（開会 19時00分）

進行：会長

1. 開会

会長：委員15名中、現在12名の出席により、郡上市地域協議会設置規則第7条第4項に規定2分の1以上の出席により、この会議は成立すること を報告する。

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

会長：ICT部会・福祉部会に分かれて協議をお願いする。

（ICT部会、福祉部会の開催）

会長：各部会の協議内容の報告をお願いする。

【ICT部会】（副部会長報告）

- ・公式LINE アカウントの登録者数は、発足から3年が経過し、当初の目標人数を達成している状況。
- ・ほ～かな！たかす広報は、地域・郡上市の情報をしっかりと配信するものである必要があり、商業情報に偏っている現状は良くないと考え、公共性の高い情報をしっかりと流せる体制を作っていく。
- ・委員さんには、地域の身近な行事・話題について記事の作成を考えており、相談したい。記事には担当者名を記載、例えば、「地域協議会何々部会 ○○」のように、（受信者）が大切な情報だと分かる形で配信の協力を頂きたい。
- ・オープンチャットの活用方法と投稿の有料化については、部会内で検討中である。

（質疑応答）

委員：毎月、掲載されている委員が記事を作成するのか。

副部会長：1人年1回。

委員：何のための誰のための配信なのか。

副部会長：配信の質を上げるというのが目的の1つ。子供からお年寄りまでの様々な人の情報・活動を配信が質を上げる手法の一つと考え、地域協議会の事業を継続させていくことが目的。

委員：シーズン的な情報は、どのように整理・調整するのか。

副部会長：来月はICT部会長が作成し、次の協議会で精査して頂き、また、次の配信担当を決めて調整を行いたい。

委員：商業情報に偏っている現状は良くないとは？地域スーパーは商業情報という理解で宜しか。

副部会長：配信スタートの目的に、地域スーパーの継続のために含まれているが、カテゴリーとして分けると商業情報に入る。メディアとしてのバランスを重視して、有用性・公共性の（受信者が）欲しがっている情報を配信できるメディアに育てることが大切。

委員：重要なものは商業情報だけではない、今まで配信していない大事なところを追加して良いものにしていくとの方針変更を行うという解釈で宜しいか。

副部会長：そのとおり。

（部会長遅参）

【福祉部会】（副部会長報告）

○移動販売車への聞き取り結果

- ・前回、月・土と報告したが、水曜日が追加となって週3で高鷲に来ている。
- ・月曜日は19箇所、水曜日は18箇所、土曜日は22箇所を実施。
- ・元社会福祉協議会の職員なので、福祉の相談対応も行っている。
- ・1週間の利用者は100名程度で、購入しない人も寄ってきてコミュニティの場となっている。
- ・人気はお惣菜で、委託販売方式で実施している。一番売れるのは香典袋。
- ・トイレットペーパー等の日用品もお願いすれば、次回、対応してもらえる。

会長：質疑・意見をお願いします。

委員：（質疑・意見無し）

（部会長補足）

- ・高鷲町高齢者の生活支援に関するアンケートは、月末送付予定、7月末までに回収する。

会長：このまま、ビジョン部会を開催する。

【ビジョン部会】

（進行：部会長）

- ・8月上旬頃にアンケート発送、8月末返送期限で逆算すると、今日の協議会で生活満足度アンケートの素案を皆さんに確認して頂き、もう1回修正をして、次回の協議会で承認頂きたい。
- ・アンケートの目的は、今の満足度、生活満足度の現状知ること。この基礎調査により、まずは現状を知る、今、地域の皆がどのように感じて何を求めているのかを客観的に確認し、それをもとに、（昨年度の）ポンチ絵「つながるたかす」の、さらに細かな指標を作り上げていく。

(事務局より、各世代別人数と各抽出方法について説明)

(部会長補足)

- ・配布するアンケートは、住民 2492 人のうち 1000 人に設定。前回の公共交通アンケートの回収率が 50% 位、同程度を想定すると回答してくるサンプル回答数が 500 人位、10 代以上の住民の 2 割の回答として集められて、有効なサンプルになると考える。
- ・対象者案は 18 歳から 89 歳。高校生までは保護者の環境に依存しており、幸福度や生活満足度は保護者に依存することが懸念され、上は 80 代までとして 90 代以降は介助の必要がある方も出てくることから対象外とした。

(質疑応答)

- 委員：地域づくりの観点では、子供も住民なので意見表明権・参加権があるが、幸福度の調査では、経済的・精神年齢的からも 18 歳以上の設定もやむを得ないと思う。
- 部会長：子供の権利条約があるが、中学校生徒会の執行部との対談ヒアリング、小学生からも意見を聞く機会を設けることで、アンケートと切り離しても良いと考える。
- 委員：高校生から市外出て行く子も多いので、親と同じ考えではないので、対象としても良い。90 歳以上でも、自分の意思のしっかりした方たちもいるので、答えられない、できないっていうことも考えられるが、アンケート配布は全員で良いと思う。
- 委員：正確性では 10 代の 18 歳以下は除外。絶対数では明らかに自分の意思がある行為まで親元に依存してる子が多い。90 年以上も同様と考える。
- 委員：今回のアンケートは統計調査ではなく、高鷲が今後どう動くべきかを確認する第一段階であり、状況を知る・概略を知ることなので、(対象者は)案のままで良いと思う。

(アンケート設問に対する意見)

- ・一つのテーマに 1 設問・自由意見欄ではなく、前回資料の案のように、もう少し具体的な内容の設問をいくつか設けた方が良いと思う。
- ・ポンチ絵のワードではなく、皆が同じ理解をして回答出来る設問が大事と考える。
- ・自由意見欄は、集計が多変、欄が広すぎるので、2～3 行の罫線ではどうか。
- ・自由意見欄は、深いところを築き上げていく際のヒントになるので必要。
- ・行間が広く見にくい、フォントも変えた方が良い。
- ・web だと家族が回答することも考えられる。
- ・公表は LINE アカウントにより、アンケート依頼文書に QR コードを記載する。

部会長：頂いた意見をまとめ、部会で再度検討するので、次回の協議会で確認願いたい。

4. その他

次回日程 7 月 31 日 (木) 19 時

5. 閉 会

(閉会 20 時 40 分)